

## 事業報告書（令和5年度）

事業名 人間関係・家庭教育を企業・団体に推進していく活動

団体名 いろは邑

担当者名 笹治英昭

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

### 1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

#### 活動内容 1

日時：2024年2月9日（金）17：30～21：30

場所：杜の街ピクニックテラス

対象者：岡山市民（岡山市に在住・在勤・在学を含む）

人数：36人

内容：岡山市内に本社または活動拠点を置く企業経営者及び団体代表者、教育関係者に対して、人間関係・家庭教育の重要性を説き事業継承も経営も親子関係が要であると言う事を体感し、円滑なコミュニケーション・愛情と信頼の心が通い合う人間関係が体現できる学習会。

#### 活動内容 2

日時：2024年2月17日（土）10：00～12：00

場所：大元公民館

対象者：岡山市民（岡山市に在住・在勤・在学を含む）

人数：13人

内容：自分の歩んできた人生（親子関係）を語り合う会ことで囚われからの解放を目指し、自分の人生を自分らしく生きるために自分の親子関係があることに気づき、新しい時代に生まれてきて良かったと言える自分らしい生き方とは何かを語り合いながら、囚われのない本当の自由な生き方とは何かを模索し気づき合う会。

### 2. ESDの視点

#### ①事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

身近な人間関係、とりわけ家庭での家族関係が心通い合う温かい関係であるならば、あらゆる社会問題が解決していけるという気づきから、まずは自身の親子関係、自身の意識を見つめ直し、人間関係・コミュニケーションをより上質なものにしていくことを心掛ける行動への変容が参加者にあった。

<p>②どのように学び合いを取り入れたか</p> <p>松下幸之助氏とナショナル・パナソニックを支え続けた人から生々しい体験談の史話を伺い、表面的な成功例や理論のみにならないように学びあいを取り入れた。</p> <p>参加者が自分ごとと捉えて、日常に実践できる様に双方向のコミュニケーションができる様に講座の学び合いを取り入れた。</p>
<p>③どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか</p> <p>生命科学、脳科学、心理学の研究実績に基づいた理論や哲学を基にした人間関係の根本と、日常に実践出来て効果が体感できる具体的なコミュニケーションの実践法や体験学習を提供し、経営の神様と名高い人が実際には子育てで苦悩していたという実話や体験談を知ること、自分もやればできる、知って気付けば行動を起こせるのですぐ実践しようとする意識になり参加者自らが自発的に行動を起こせる工夫として、実話や体験談を伝えていった。</p>
<p>3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）</p> <p>人間関係で傷つき心が疲弊し命が危ぶまれるような虐待や様々な事件が起きて自ら命を絶つ人々がいる。また、逆に災難や苦難に見舞われ生きる望み、意欲を失いかけた時に人間関係によって救われ助けられる命もある日本の現状の中「誰一人取り残さない」を目標に掲げ、愛が伝わる人間関係の浸透で全ての人を救う、全ての人を支えになりすべての人が精神的に豊かに自分らしく生きる幸せを実現する社会になることを目標に掲げて、今年度も活動し、参加者の人々に親子関係の見直しで良好で上質な人間関係の在り方を届ける事が出来、その人々に目的、目標以上の成果を達成できた手応えがあります。</p> <p>事業承継、経営の安泰、経済発展にも親子関係は最も重要な要因であるとの認識を深めることもできた。</p>
<p>4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）</p> <p>虐待・貧困を根絶し、誰もが心理的に安心して平和に暮らせる社会になるように貢献できるとの確証を得たのみならず事業承継や経営にもゆるぎない安泰と根本的な発展を促していけるという確証と確信を得た。</p> <p>ゆえに、人間関係を学ぶという教育・家庭教育の普及こそが持続可能な社会づくりの発展・継続に直に密接に繋がります。</p> <p>今後は多くの人々、特に企業の経営者、団体の代表者、教育者、子育て世代に広く普及していくことを課題とし、日本から虐待・貧困による社会問題を根絶し豊かな幸せな事業承継・経営と心の通い合う温かい家族関係・親子関係のもと幸せに人生を謳歌できる地域づくり国づくりを展望として活動していきます。</p>